



2012年3月期 第3四半期 決算説明会

2012年2月3日
株式会社ニコン

※本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現在における入手可能な情報に基づき当社が判断した内容であり、潜在的リスク及び不確実性が含まれます。従いまして、様々な要因の変化によって、実際の業績は記述されている内容と大きく乖離する結果となる可能性があることをご承知おきください。

【ニコンタイランド社の操業停止、代替生産・操業再開の経緯】

- ・2011年10月 6日：洪水被害を受け、ニコンタイランド社の操業を停止
- ・2011年11月30日：タイ国内の協力工場での代替生産により、一眼レフと交換レンズの一部機種の出荷を開始
- ・2012年 1月 3日：ニコンタイランド社の一部操業を再開
- ・協力工場での代替生産に加えてニコンタイランド社における生産は順調に拡大しており、一眼レフと交換レンズは2012年3月末に通常の生産量に戻る見通し

【生産設備入替等による設備投資額】

総額 約300億円

【タイ洪水に起因する特別損失・特別利益の下期見込額】

- ・特別損失 約 120億円（固定資産減損、棚卸廃棄、休業補償など）
- ・特別利益 約 115億円（保険金収入）

Agenda

- I . 2012年3月期 第3四半期の概況**
- II . 2012年3月期の見通し
- III . 参考データ

◆3Qはタイ洪水と円高の影響で前年比減収減益だが、3Q累計では8%増収、営業利益は約2倍

【精機】

3Qは上期に引き続いて高い利益率を確保。3Q累計では前年比大幅な増収増益

【映像】

3Qは洪水影響で前年比 2割の減収だが、コンパクトタイプの販売好調などにより営業黒字を確保。3Q累計では、前年比増収増益

【インストルメンツ】

公共予算の延期・縮小、半導体・電子部品向け設備投資抑制の影響を受け、3Q・3Q累計ともに前年並の売上だが、営業赤字幅は縮小傾向

◆3Qにタイ洪水被害による特別損失109億円を計上

2012年3月期 第3四半期 連結売上高・損益

株式会社ニコン
広報・IR部



単位:億円	11年3月期		12年3月期		前年実績比	
	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計
売上高	2,538	6,518	2,154	7,017	▲384	+499
営業利益 売上高比	186 7.3%	337 5.2%	82 3.8%	694 9.9%	▲104	+357
経常利益 売上高比	179 7.1%	357 5.5%	110 5.1%	762 10.9%	▲69	+405
当期純利益 売上高比	97 3.8%	203 3.1%	▲37 -%	467 6.7%	▲134	+264
FCF	659		▲133		▲792	
為替 ドル	83円	87円	77円	79円	売上高への影響 ▲97 ▲323	
ユーロ	112円	113円	104円	111円	営業利益への影響 ▲27 ▲104	

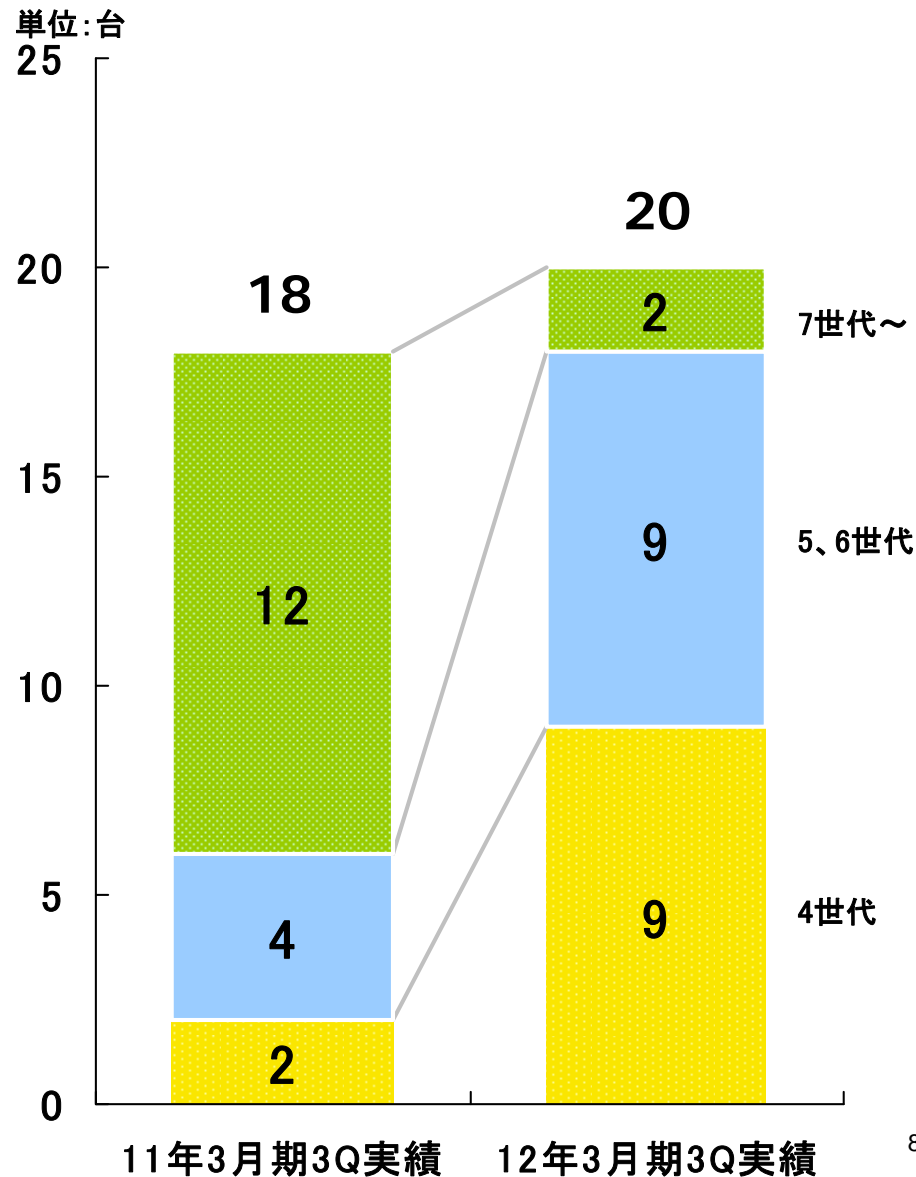
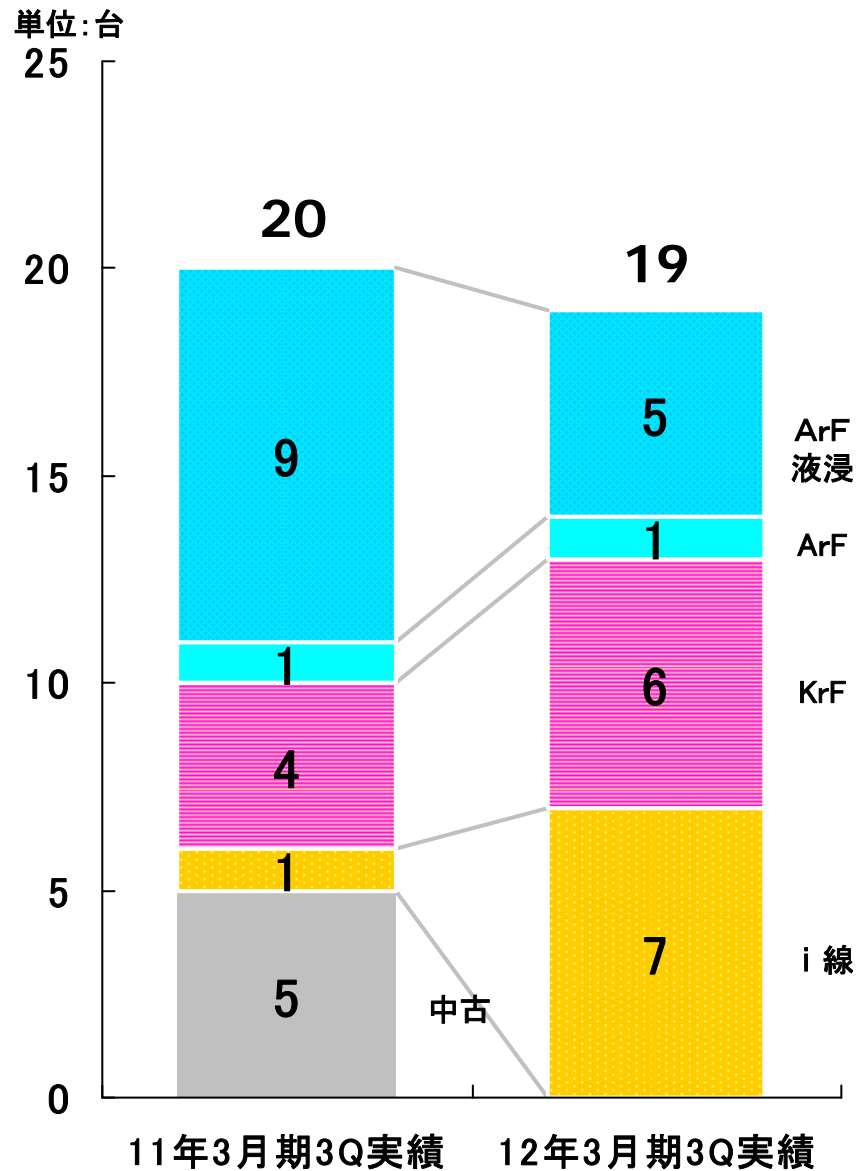
精機は回復基調が続いたが、タイ洪水の映像事業への影響が大きく、3Qは前年比減収減益。3Q累計では増収増益

* スライドで使用している数値はすべて億円未満は四捨五入してあります。

単位:億円	11年3月期		12年3月期		前年実績比	
	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計
売上高	614	1,422	589	1,837	▲25	+415
営業利益 実績(参考:新方式) 売上高比	33(48) 5.4%(7.8%)	▲14(28) -%(2.0%)	88 14.9%	321 17.5%	+40	+293
半導体露光装置 新品/中古	15/5台	33/17台	14/5台	40/21台	▲1/±0台	+7/+4台
液晶露光装置	18台	41台	20台	68台	+2台	+27台

前3Q比は微減収だが、半導体露光装置のリードタイム短縮などの収益構造改善により増益。3Q累計では、大幅な増収増益

半導体露光装置光源別販売台数(中古含む) 液晶露光装置世代別販売台数



2012年3月期 第3四半期 映像カンパニー

株式会社ニコン
広報・IR部



単位: 億円	11年3月期		12年3月期		前年実績比	
	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計
売上高	1,722	4,540	1,375	4,620	▲347	+80
営業利益 実績(参考:新方式) 売上高比	157(180) 9.1%(10.5%)	380(449) 8.4%(9.9%)	38 2.8%	512 11.1%	▲142	+63
レンズ交換式 デジタルカメラ	125万台	315万台	94万台	367万台	▲31万台	+52万台
交換レンズ	185万本	480万本	163万本	556万本	▲22万本	+76万本
コンパクト デジタルカメラ	490万台	1,160万台	601万台	1,387万台	+111万台	+227万台

新製品「Nikon 1」の販売は好調だが、タイ洪水の一眼レフへの影響が大きく、レンズ交換式カメラと交換レンズは前年比減少。コンパクトタイプは競争力が高まり、市場が縮小するなかで2割以上の販売台数増、四半期の台数では過去最高を更新



単位: 億円	11年3月期		12年3月期		前年実績比	
	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計
売上高	130	372	133	379	+3	+7
営業利益 実績(参考:新方式) 売上高比	▲16(▲13) -% (-%)	▲58 (▲47) -% (-%)	▲11 -%	▲35 -%	+2	+12

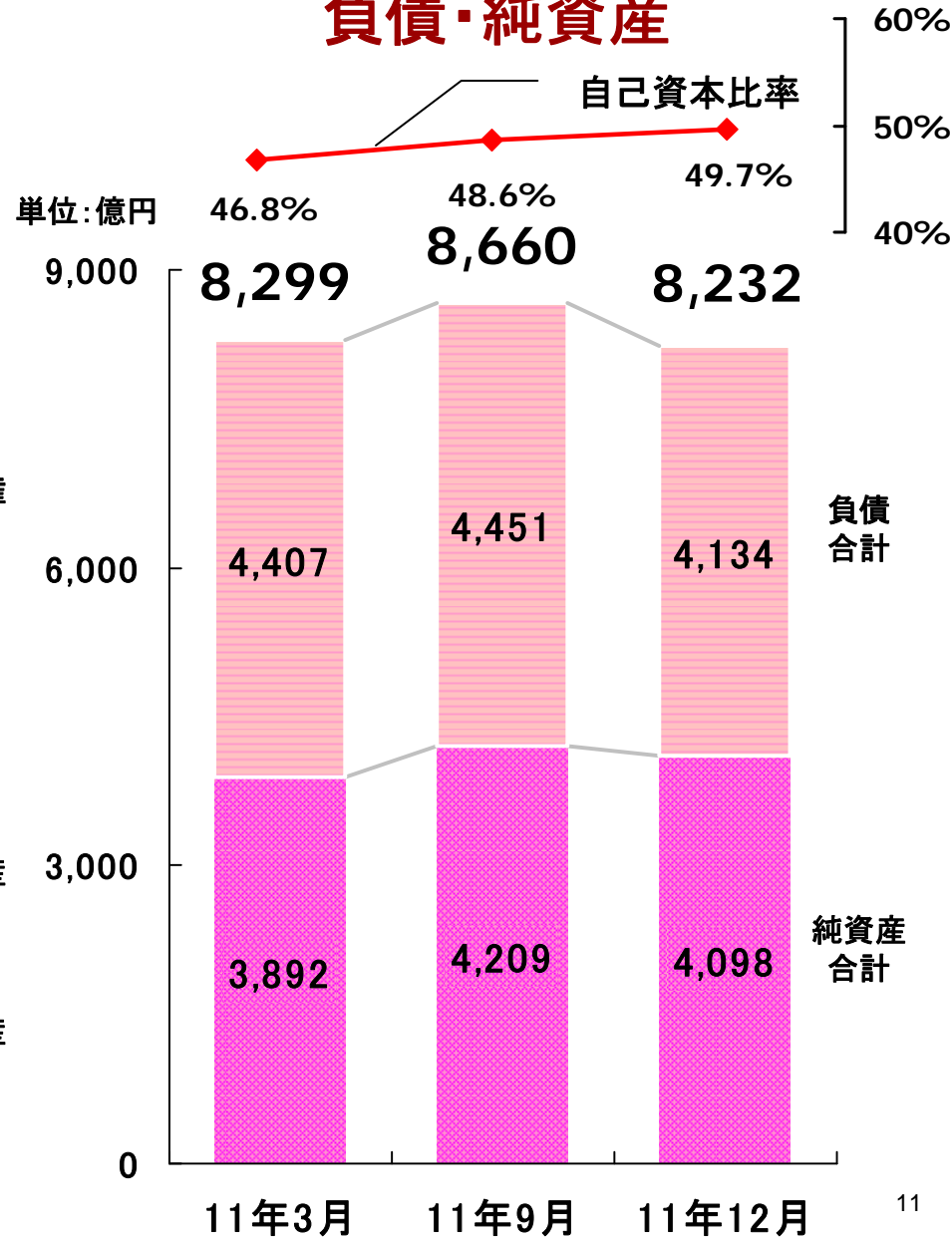
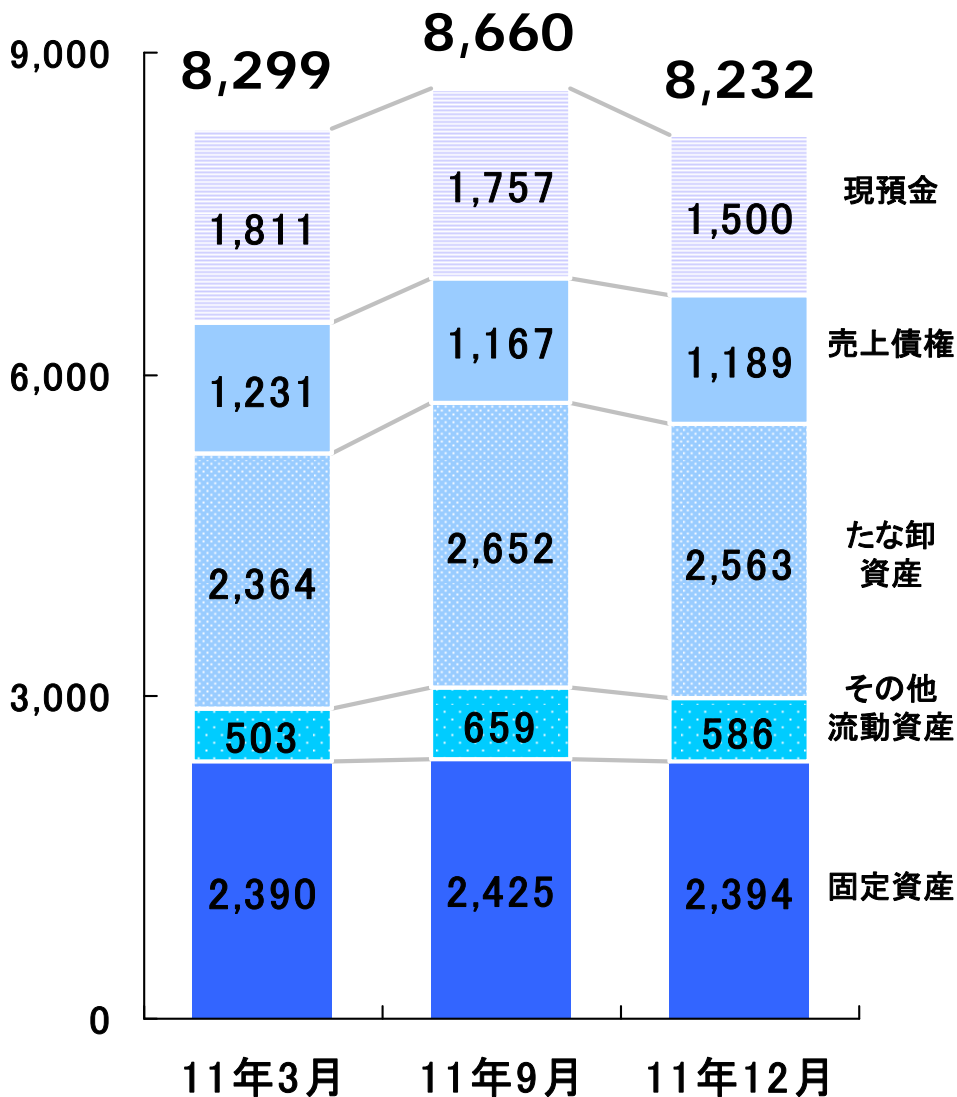
バイオサイエンス分野は公共予算の延期・縮小の影響、産業機器分野は半導体・電子部品向け設備投資抑制の影響を受け、3Q・3Q累計ともに前年並の売上、赤字幅は縮小傾向

2012年3月期 第3四半期 B/S内訳

資産

負債・純資産

単位：億円



Agenda

- I. 2012年3月期 第3四半期の概況
- II. 2012年3月期の見通し**
- III. 参考データ

2012年3月期 見通しポイント

- ◆ 事業別に若干の増減があるが、売上高は据え置く。
営業利益は、主に映像事業の交換レンズとコンパクトタイプ台数増加により、前回予想から50億円上方修正

【精機】

半導体露光装置1台の販売が来期にシフト。売上高を50億円下方修正。
営業利益は、ArF液浸スキャナーの製造リードタイム短縮など、収益構造改善の進展により据え置く

【映像】

コンパクトタイプと交換レンズの販売台数を上方修正し、売上高を100億円、
営業利益を40億円、上方修正

【インストルメンツ】

4Qも引続きバイオサイエンス・産業機器ともに市場低迷の影響を受ける見通し。
売上高を20億円、営業利益を5億円、下方修正

- ◆ 4Qのユーロの為替前提を、5円円高の100円に変更
- ◆ 年間配当金 34円の予定は据え置く

2012年3月期 見通し 連結売上高・損益

単位: 億円	11年3月期 実績	3Q累計 4Q	前回予想 (11/4)	上期 下期	12年3月期 見通し	3Q累計 4Q	前年 実績比	前回 予想比
売上高	8,875	$\frac{6,518}{2,357}$	9,250	$\frac{4,863}{4,387}$	9,250	$\frac{7,017}{2,233}$	+375	±0
営業利益 売上高比	541 6.1%	$\frac{337}{204}$	670 7.2%	$\frac{612}{58}$	720 7.8%	$\frac{694}{26}$	+179	+50
経常利益 売上高比	558 6.3%	$\frac{357}{201}$	720 7.8%	$\frac{652}{68}$	800 8.6%	$\frac{762}{38}$	+242	+80
当期純利益 売上高比	273 3.1%	$\frac{203}{70}$	550 5.9%	$\frac{504}{46}$	550 5.9%	$\frac{467}{83}$	+277	±0
FCF	1,000		300		300		▲700	±0
為替:ドル ユーロ	86円 113円	$\frac{87円}{82円}$ $\frac{113円}{113円}$	77円 109円	$\frac{80円}{75円}$ $\frac{114円}{105円}$	78円 108円	$\frac{79円}{75円}$ $\frac{111円}{100円}$		

震災と洪水の被害に加え、円高影響を受けたが前年比増収・増益の見通し

* 前回予想とは2011年11月4日発表における予想です。

2012年3月期 見通し 精機カンパニー

株式会社ニコン
広報・IR部



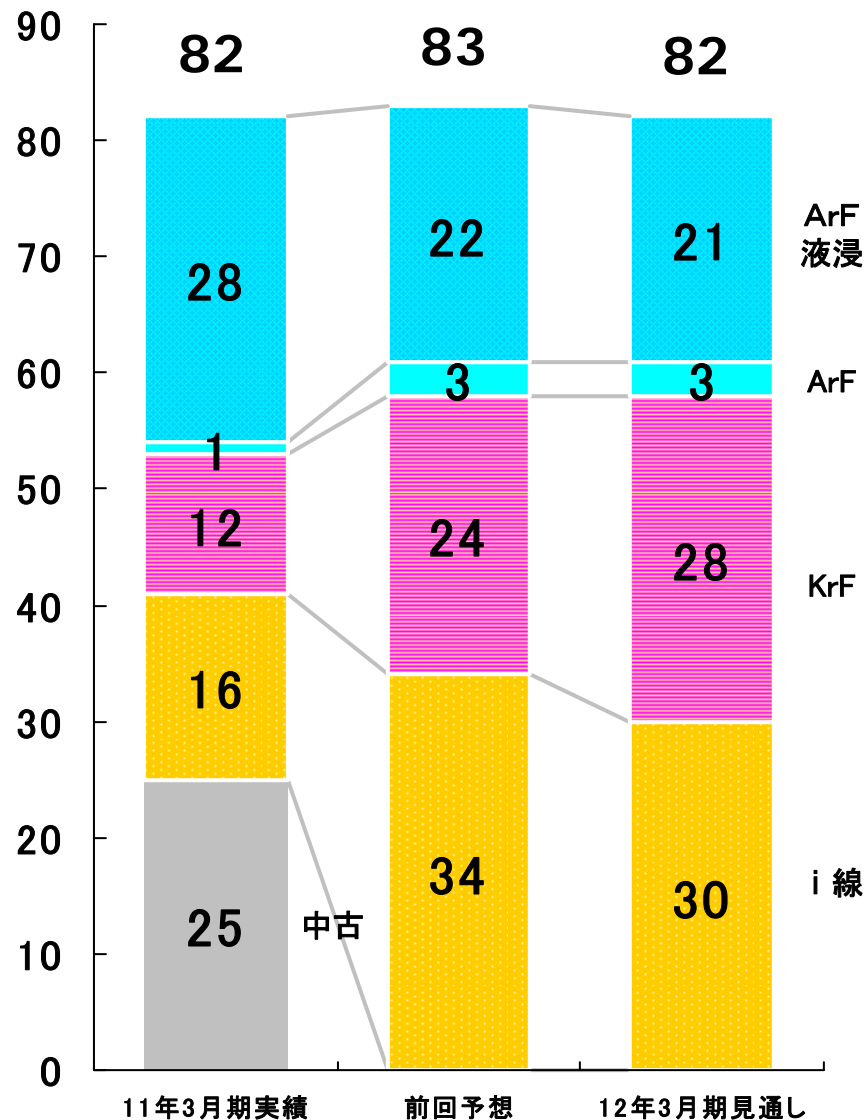
単位: 億円	11年3月期 実績	3Q累計 4Q	前回予想 (11/4)	上期 下期	12年3月期 見通し	3Q累計 4Q
売上高	2,086	$\frac{1,422}{664}$	2,650	$\frac{1,248}{1,402}$	2,600	$\frac{1,837}{763}$
営業利益 実績(参考:新方式) 売上高比	27(83) 1.3% (4.0%)	$\frac{\blacktriangle 14}{41} (\frac{28}{55})$	370 14.0%	$\frac{233}{137}$	370 14.2%	$\frac{321}{49}$
半導体露光装置 新品/中古	57/25台	$\frac{33/17}{24/8}$	58/25台	$\frac{26/16}{32/9}$	57/25台	$\frac{40/21}{17/4}$
液晶露光装置	57台	$\frac{41}{16}$	85台	$\frac{48}{37}$	85台	$\frac{68}{17}$
半導体露光装置 市場規模 CY10/11	228台		280台程度		311台	
液晶露光装置 市場規模 CY10/11	112台		120台程度		109台	

半導体・液晶ともに今後の露光装置市場は縮小傾向だが、収益構造の改善とArF液浸スキャナー新製品「S621D」による競争力強化を進め、来期に繋げる

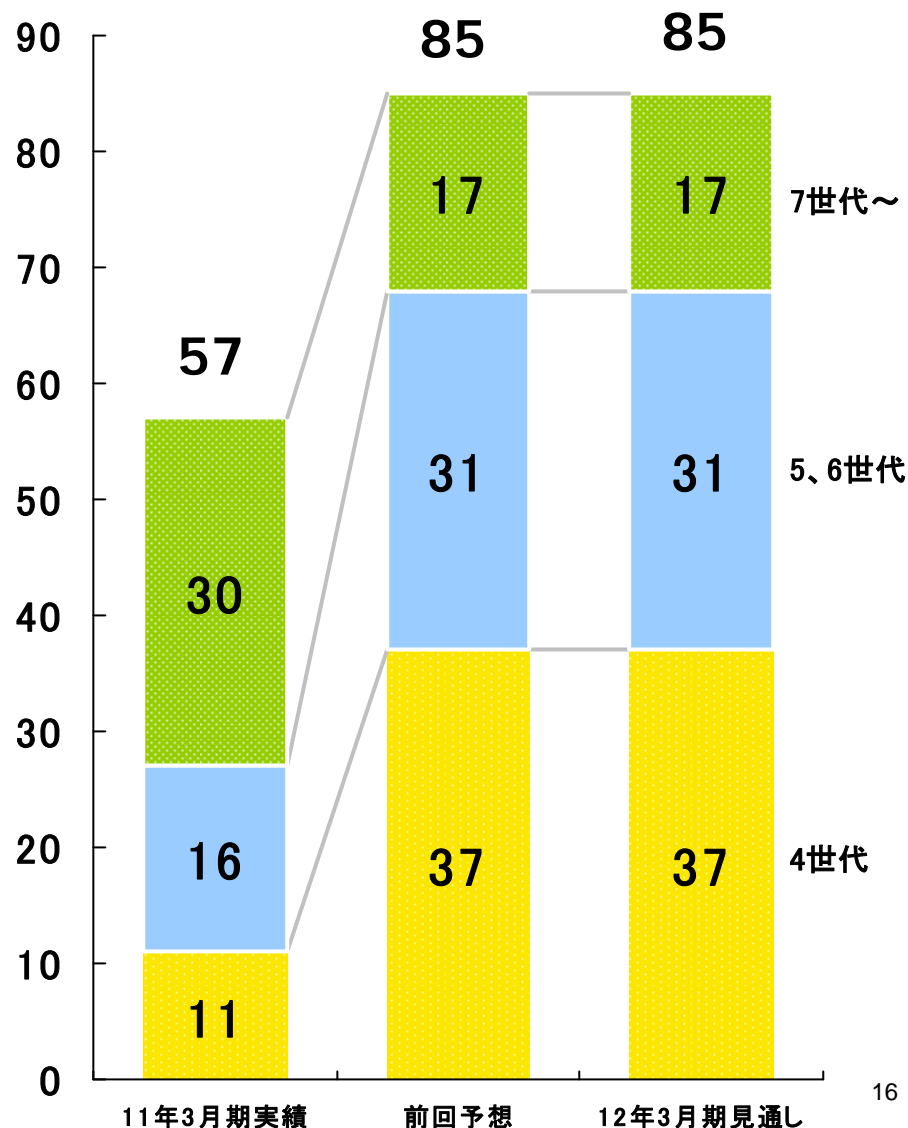
2012年3月期 見通し 精機カンパニー

半導体露光装置光源別販売台数(中古含む) 液晶露光装置世代別販売台数

単位:台



単位:台



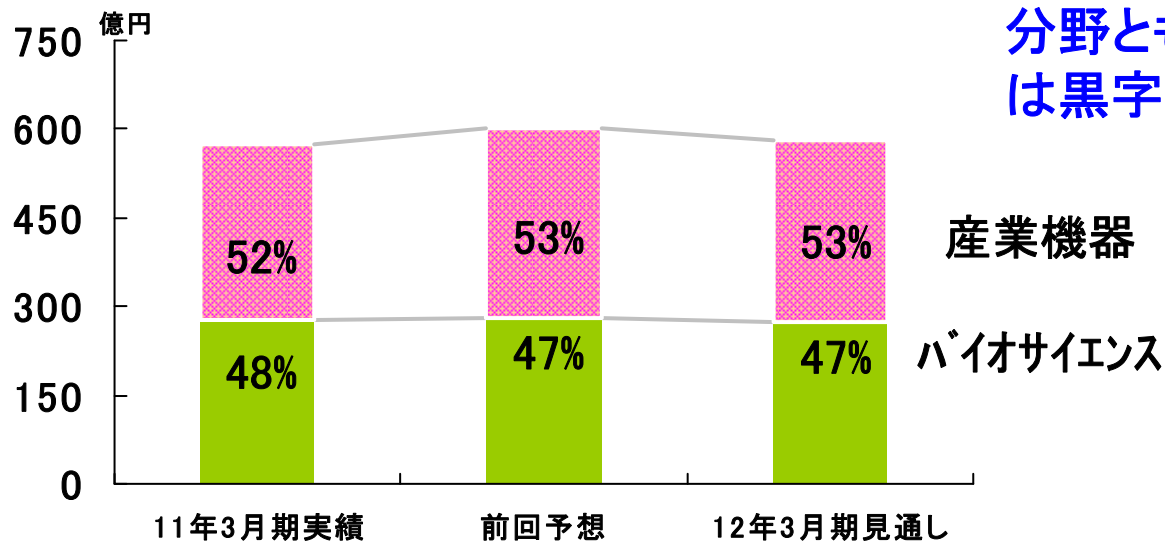
2012年3月期 見通し 映像カンパニー

単位: 億円	11年3月期 実績	3Q累計 4Q	前回予想 (11/4)	上期 下期	12年3月期 見通し	3Q累計 4Q
売上高	5,964	$\frac{4,540}{1,424}$	5,750	$\frac{3,245}{2,505}$	5,850	$\frac{4,620}{1,230}$
営業利益 実績(参考:新方式) 売上高比	523(614) 8.8% (10.3%)	$\frac{380}{143}$ ($\frac{449}{165}$)	480 8.3%	$\frac{474}{6}$	520 8.9%	$\frac{512}{8}$
レンズ交換式 デジタルカメラ	429万台	$\frac{315}{114}$	470万台	$\frac{273}{197}$	470万台	$\frac{367}{103}$
交換レンズ	636万本	$\frac{480}{156}$	670万本	$\frac{393}{277}$	690万本	$\frac{556}{134}$
コンパクト デジタルカメラ	1,426万台	$\frac{1,160}{266}$	1,600万台	$\frac{786}{814}$	1,700万台	$\frac{1,387}{313}$
レンズ交換式デジタル カメラ市場規模	1,414万台		1,500万台		1,500万台	
交換レンズ 市場規模	2,327万本		2,500万本		2,500万本	
コンパクトデジタル カメラ市場規模	10,741万台		10,000万台		10,000万台	

洪水被害を受けたニコンタイランドの生産能力回復は順調に進展。
販売好調な Nikon 1 とコンパクトタイプの更なる拡販を図る

2012年3月期 見通し インストルメンツカンパニー

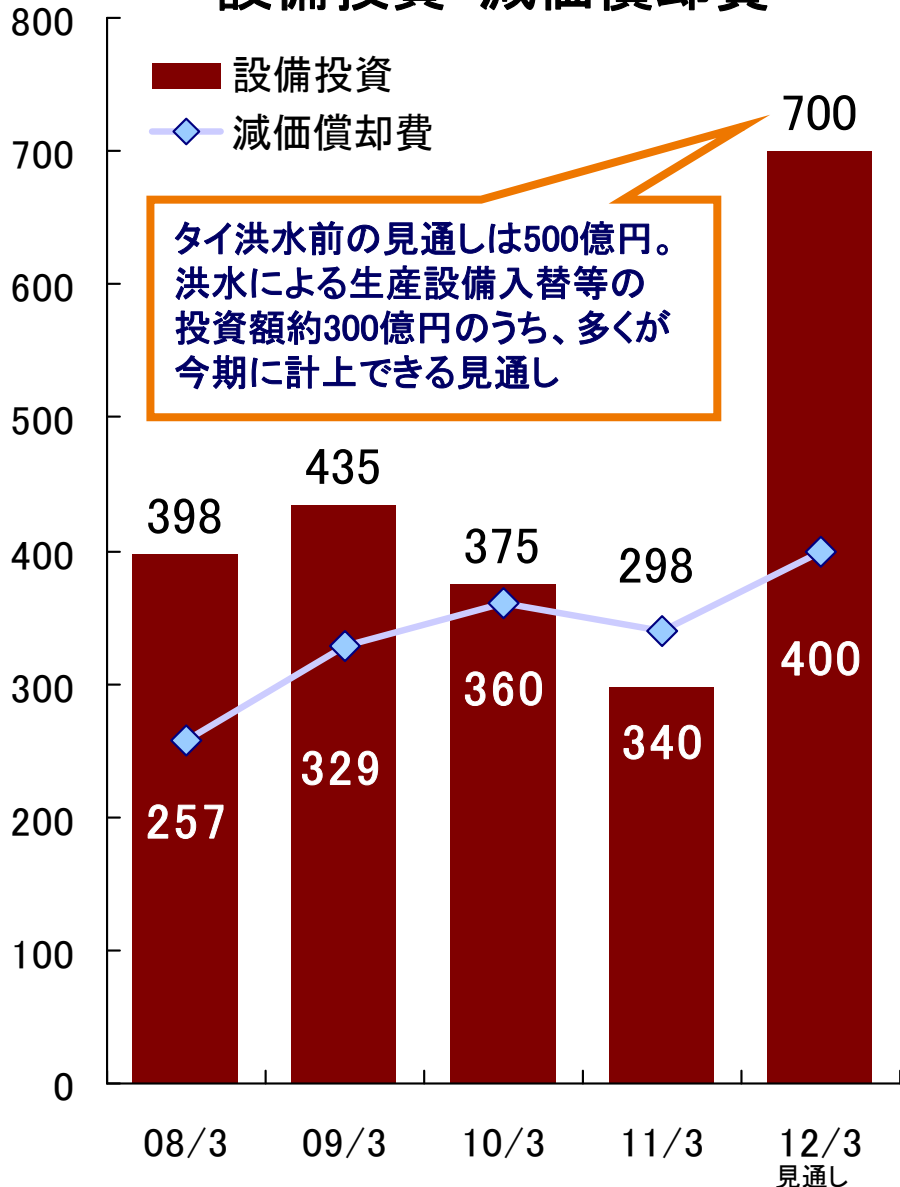
単位: 億円	11年3月期 実績	3Q累計 4Q	前回予想 (11/4)	上期 下期	12年3月期 見通し	3Q累計 4Q
売上高	575	$\frac{372}{203}$	600	$\frac{246}{354}$	580	$\frac{379}{201}$
営業利益 実績(参考:新方式) 売上高比	▲52 (▲38) —% (—%)	▲58 (▲47) 6 (9)	▲20 —%	▲24 4	▲25 —%	▲35 10



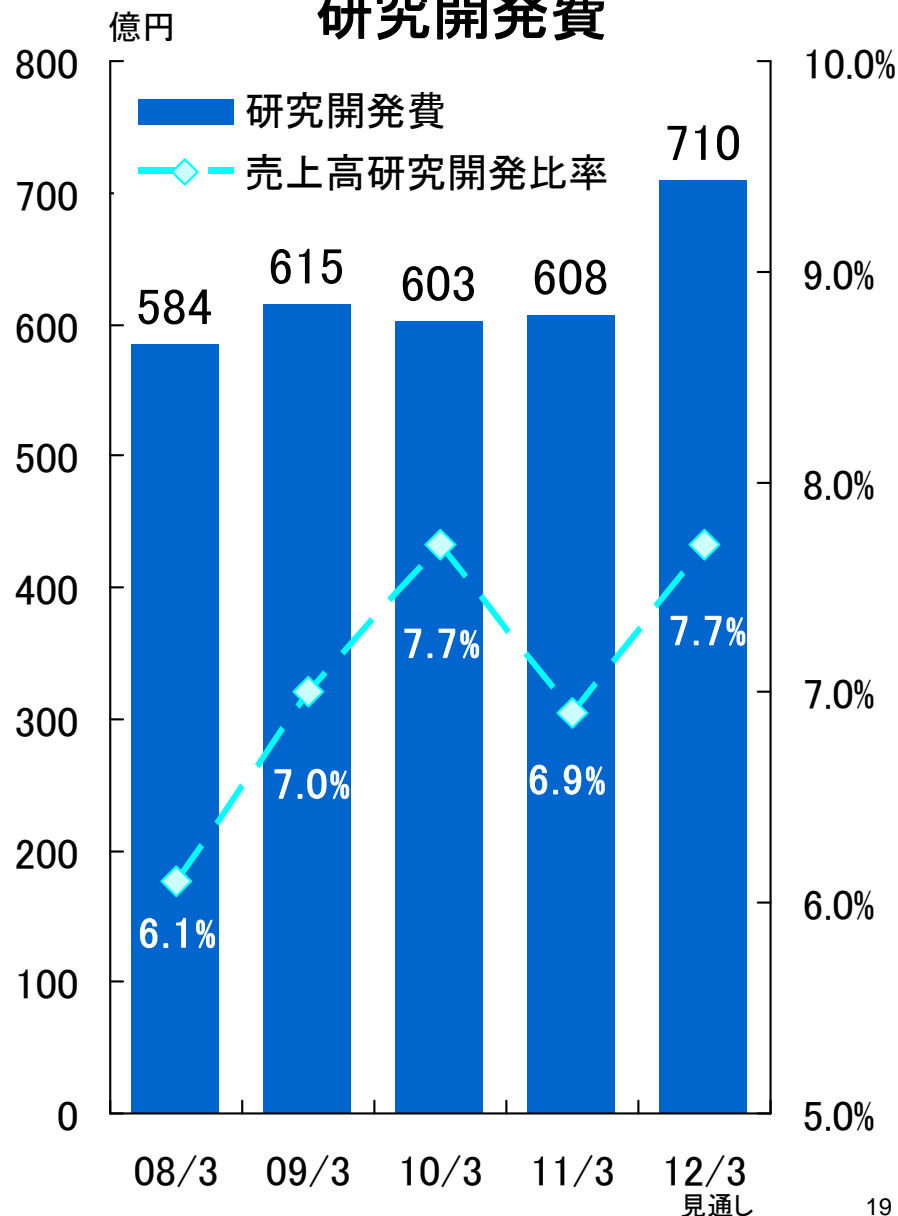
バイオサイエンス分野、産業機器
分野ともに市場低迷が続くが、4Q
は黒字化を狙い、来期に繋げる



設備投資・減価償却費



研究開発費



注)09/3以降には、リース会計基準の変更に伴うリース資産の取得額を含む。

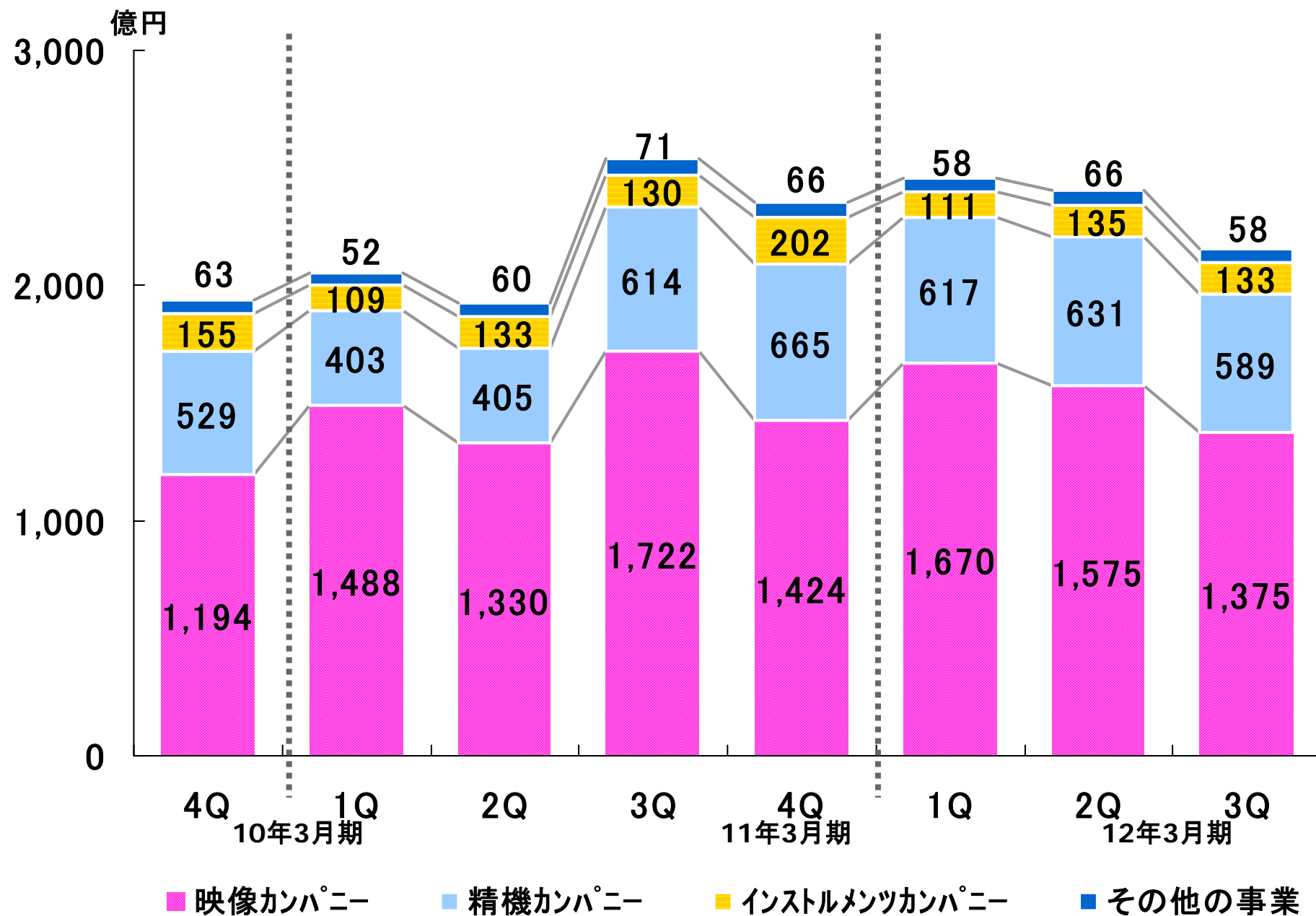
Agenda

- I. 2012年3月期 第3四半期の概況
- II. 2012年3月期の見通し
- III. 参考データ**

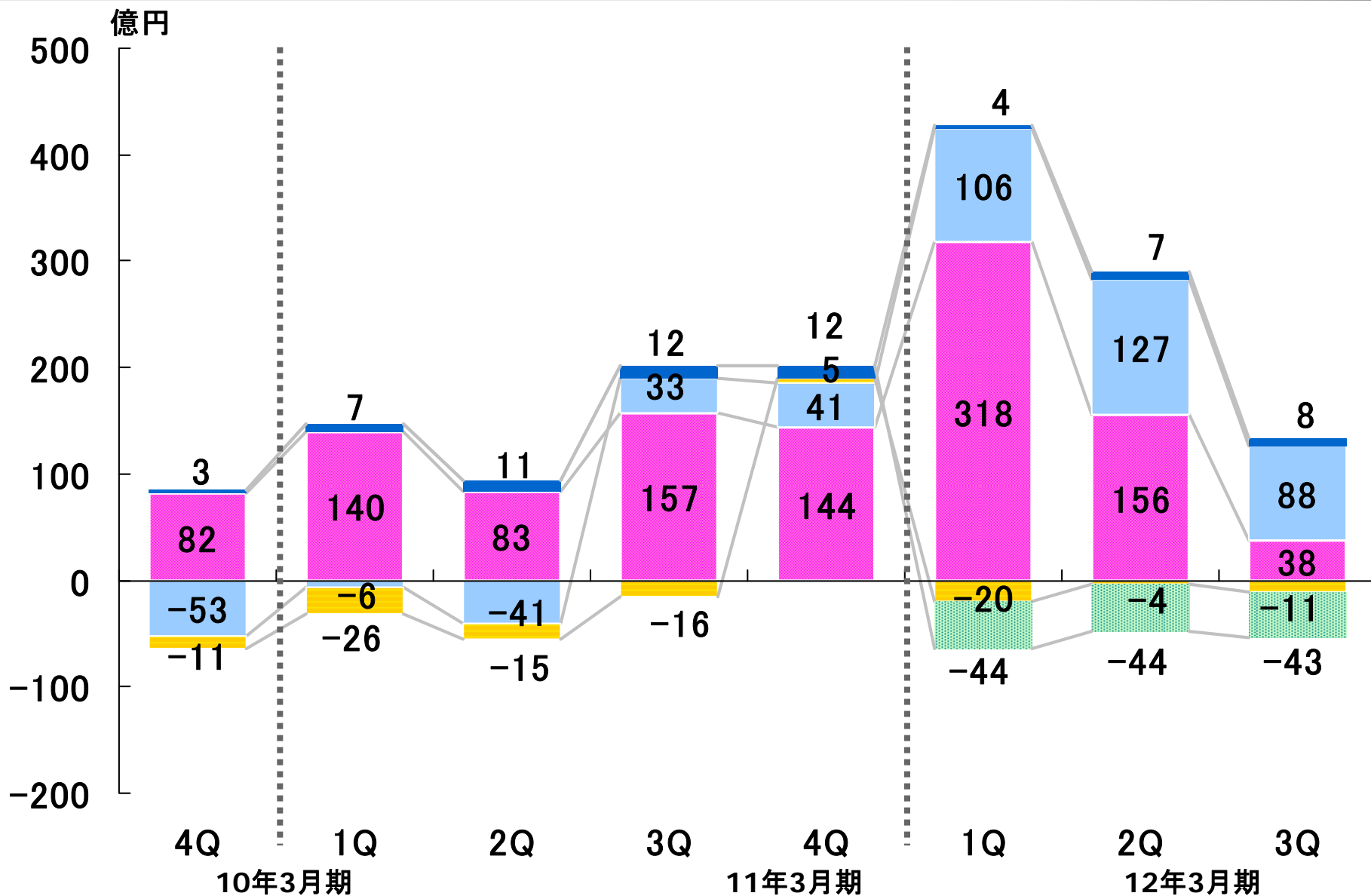
2012年3月期 見通し

	為替レート	1円の変動による影響額	
	12年3月期 4Q前提	売上高 4Q	営業利益 4Q
USドル	75円	約 14億円	約 2億円
ユーロ	100円	約 4億円	約 3億円

参考データ 四半期セグメント別売上高推移



参考データ 四半期セグメント別営業利益推移



■ 映像カンパニー ■ 精機カンパニー ■ インストルメンツカンパニー ■ その他の事業 ■ 全社費用



NIKON CORPORATION